



山梨大学 新技術情報クラブ

～ コーディネータコラム ～

2020/9/8

【令02-11号】



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

社会連携・知財管理センター
地域連携コーディネータ 内藤 富美晴

7月から内藤久俊氏の後任として社会連携・知財管理センターに着任いたしました地域連携コーディネータの内藤富美晴と申します。初めてのコラムですので、自己紹介などを交えて雑感を述べたいと思います。

私は山梨中央銀行退職後、今年6月まで山梨中銀行のグループ会社である山梨中銀経営コンサルティング株式会社に5年間勤務しておりました。同社は、経済調査や地公体の受託業務、経営コンサルティング、投資（キャピタル）、研修等の業務を行っています。

私は、経営全般を見る傍ら、スタートアップ企業等への投資やM&Aなどの業務にも携わらせていただきました。

バブル崩壊以降長い間低成長が続いておりましたが、この間世の中は、AIやIoT、FinTech、バイオテクノロジーなど注目のテクノロジーが相次いで誕生しました。

現在は、第4次ベンチャーブームとも言われており、大学発ベンチャーも、年々増加しています。地方においても、地方創生の名のもとに、スタートアップ企業を育成すべく、全国各地に官民ファンドやVC（ベンチャーキャピタル）による投資ファンドの設立が相次ぎました。

同社もこの時期に県内のベンチャー企業や、地方創生に資する企業を応援するファンド等を立ち上げ、出資を通じてスタートアップ企業の育成のお手伝いをさせていただきましたが、なかなか一筋縄ではいかぬ世界であると痛感しております。

起業においては、ビジネスをアイデアの状態から起動させる、いわゆる0→1のプロセス、つまり何もないところから始めて、新しいものを作り出すこと（生みの苦しみ）が一番難しく大変であるといわれていますが、実はこれが一番面白いのだそうです。

着任してまだ2か月余りですが、山梨大学においても世界に誇れる研究シーズや技術シーズ、知財が豊富にあることを知りました。今後、「山梨大学発ベンチャー」がたくさん出てくるのではないかとワクワクしています。

私は、生まれも育ちも南アルプス市で、住まいの近くに世界の塔博士と言われる、東京タワーや通天閣の構造設計をした内藤多仲先生の生家があります。同じ内藤ですが残念ながら親戚ではありません。ただ、内藤先生を郷土の誇りとしてとても尊敬しております。

休みの日は専ら果樹栽培に挑戦しています。とは言っても、父から受け継いだ猫の額のような畑で、桃や梅などを育てています。若いころは大変なだけで農業は本当に嫌だったのですが、今は、手を入れた木が成長し、果実をつけることに不思議と夢中になってしまいます。

農業は、天候、害虫、病気等に左右されるかなりリスクな事業ですが、今後、大きな成長が期待される分野の一つです。

山梨大学がワイン研究をはじめ農業分野において、様々な課題解決を通して、地域に大きな貢献をしていることを知り、とても感激しております。

この度、ご縁があつて金融界から大学というアカデミックな環境に身を投じることとなりました。皆さまについて行けるか不安ですが、この業務を通じて、社会や地域の課題解決のご支援ができることにとってもやりがいを感じております。

アフターコロナの時代は、人々の価値観や社会がどのように変化していくか不安や期待で一杯です。会員の皆さま、どうかこれからご指導のほど、よろしく申し上げます。

インフォメーション 目次

01 :	プレスリリース	(2件)
02 :	イベント	(1件)
03 :	セミナー情報	(4件)
04 :	助成事業および公募情報	(2件)
05 :	事務局からのお知らせ	



■01	プレスリリース	(2件)
-----	---------	-------

◆世界初、新日本無線、高電流増幅率・低イオン抵抗シリコンSJ-BJTパワーデバイスを開発

新日本無線株式会社は、山梨大学大学院総合研究部の矢野浩司教授、他と合同で、コレクタ領域をスーパージャンクソン(SJ)構造とするシリコンバイポーラトランジスタ(SJ-BJT)の開発に成功しました。本技術により、電流開閉器の更なる小型化、低損失化が期待でき、将来の省エネ社会および低炭素化社会の実現に貢献します。

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2020/08/20200828pr.pdf>

◆水素社会の実現に向けた本学を代表とする材料研究開発事業の開始について

令和2年9月1日(火)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学連携研究開発事業」において、本学を代表とする産学連携チームの提案が4件採択されました。この事業は令和2年度から令和6年度まで5年間で実施されます。

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/20200901pr.pdf>



■02	イベント	(1件)
-----	------	-------

◆【JST】新技術説明会

新技術説明会は、大学、高等専門学校、国立研究開発法人等の公的研究機関から生まれた研究成果(特許)の実用化(技術移転)を目的に、企業関係者に向けて、研究者自らが直接プレゼンする特許の説明会です。現在は新型コロナウイルス感染状況を鑑みて、WEBで開催しております。遠方からでも多くの機関の新技術に触れることができますので、ぜひご参加ください。

山梨大学は令和2年12月3日(木)PMに開催予定です。

説明会のスケジュール等、詳しくは下記URLよりご覧ください。
<https://shingi.jst.go.jp/kobetsu.html>



03

セミナー情報

(4件)

◆第3回臨床工学・産学連携マッチング会(オンライン)

医療現場でご活躍の臨床工学技士の先生方より、医療機器に開発に繋がる「お困りごと(ニーズ)」を発表いただきます。

日時：令和2年9月15日(火) 18:00～20:00

詳しくは下記URLよりご覧ください。

https://ikou-hub.tokyo/contents/event/cluster_20200915/

◆若手研究者シーズの出会いの場「一步先の医療機器開発への挑戦」
オンラインセミナーのご案内

東京都医工連携セミナー「一步先の医療機器開発への挑戦」をオンライン形式で開催します。
若手研究者シーズを通じて、一步先の医療機器開発のヒントを得るための機会として、ぜひご参加ください。

詳しくは下記URLよりご覧ください。

日時：令和2年9月24日(木) 16:00～18:00

◆【JQA】「いま身につけたい医療機器入門セミナー」開催のご案内

新たに医療機器業界への参入をご検討されているお客様に、医療機器規格ISO13485の基本的な考え方から構築のポイント、医療機器産業における計測器管理の動向などを分かりやすく解説します。また、その他の業界に特化したマネジメントシステム規格のポイントについてもご紹介します。
セミナー終了後には、ご希望の方に無料の個別相談会を開催します。
ぜひご参加ください。

日時：令和2年9月25日(金) 14:00～16:30

場所：テクノプラザおかや(長野県岡谷市本町1-1-1)

詳しくは下記URLよりご覧ください。

https://www.jqa.jp/service_list/management/topics/topics_ms_310.html

◆【甲府商工会議所】「簿記検定試験のポイントと対策」開催のご案内

個人商店や企業の経理・財務担当者はもちろん、企業の経営状況を数字から理解するための基礎知識が身につく日商簿記3級の合格を目指します。検定試験に不安をお持ちの方、思うように学習が進んでいない方、問題を解くコツを知りたい方など、ぜひご参加ください。

日時：令和2年10月31日(土) 9:30～12:00

場所：学校法人 大原学園甲府校(甲府市丸の内2-8-8)

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://kofucci.or.jp/news/20200821>

◆【山梨中銀地方創生基金】<https://www.yamanashi-chihousousei.or.jp/furtherance/>

◎起業・創業に対する助成事業

- ①令和2年4月1日から令和3年3月31日までに山梨県内で起業・創業を予定する、又は起業・創業した法人・個人に対して起業・創業に係る費用を助成します。
- ②山梨県内で起業・創業を支援する団体等に対して起業・創業支援に係る費用を助成します。

助成金額：①法人・個人 ②団体等 ともに1件あたり200万円以内
応募期間：第2回 令和2年10月5日(月)～30日(金)

◎U・I・Jターンする個人に対する助成事業

山梨県内の地域社会繁栄又は地域経済活性化に寄与することを目的として、山梨県内に就職、居住する個人(予定者を含む)に対して、就職や転居等に係る費用を助成します。

対象者：令和2年5月1日から令和3年4月30日までの間に、U・I・Jターンにより山梨県内の企業へ新たに就職(正規雇用者に限る)し、かつ、山梨県内に居住する個人(予定者を含む)

助成金額：1人あたり20万円
応募期間：令和2年5月7日(木)～11月30日(月)

◎技術等向上に取り組む個人等に対する助成事業

山梨県内の地域社会繁栄又は地域経済活性化への寄与を目的として、高度な技能・技術・知識向上のための費用を助成します。

対象者：山梨県内に居住し高度な技能・技術・知識向上に積極的に取り組み、将来、山梨県においてこれらの成果を活用しようとする個人

助成金額：1人あたり50万円
応募期間：令和2年5月7日(木)～11月30日(月)

◆【山梨県】山梨県海外ビジネスサポートデスク(中国)のご案内

山梨県では県内企業者の関心が高い中国において、進出に関するサポートや、県内企業の技術シーズを踏まえた販路開拓の支援を行う「中国ビジネスサポートデスク」を設置しています。
サポートデスクでは、豊富な知見や経験、幅広いネットワーク等を有する人材を揃えており、原則無料ですので、ぜひご利用ください。

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/seichosangyo/chugoku/r2sapotodesuku.html>



～会員会社様へ課題伺いの訪問をいたします～

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
会員企業様の持つておられる技術課題をお伺いします。
インターネットを活用したご相談もお受けいたしますので、ご希望の会員企業様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

-
-
-
- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
 - 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

